

「いじめの問題への対応状況の調査」結果（9月末現在）

令和4年（2022年）12月
北海道教育委員会

◆ 調査の概要

- 1 調査の趣旨
いじめの問題の未然防止、早期発見・早期対応の取組の一層の充実を図るため
- 2 調査対象校 <計1,575校>

札幌市立学校を除く道内全ての公立小・中・高等学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校 ・小学校779校（義務教育学校前期課程含む） ・中学校475校（義務教育学校後期課程及び登別明日中等教育学校前期課程含む） ・高等学校254校（全・定別、登別明日中等教育学校後期課程含む、通信制除く） ・特別支援学校67校

- 3 調査対象期間
令和4年（2022年）4月～令和4年（2022年）9月

◆ 調査の結果

	1. 認知したいじめの件数	対 応 状 況			
		2. 解消件数 ・心理的、物理的行為が止み、相当の期間（3か月程度）経過している。 ・心身の苦痛を感じていない。	3. 解消に向けて取組中の件数 ・心理的、物理的行為が止んでいるが、その状態が相当の期間（3か月程度）経過していない。 ・心理的、物理的行為が止んでいない。 ・心理的、物理的行為が止み、相当の期間（3か月程度）経過しているが、心身の苦痛を感じている。		4. その他
令和4年度 第2回 （4月～9月）	10,442	9,492（90.9%）	870（8.3%）	77（0.7%）	3（0.03%）
小学校	8,297	7,656（92.3%）	579（7.0%）	61（0.7%）	1（0.01%）
中学校	1,766	1,529（86.6%）	229（13.0%）	7（0.4%）	1（0.1%）
高等学校	348	278（79.9%）	60（17.2%）	9（2.6%）	1（0.3%）
特別支援	31	29（93.5%）	2（6.5%）	0（0.0%）	0（0.0%）

※（ ）は、認知したいじめの件数に対する割合

◆ 前年度同期の調査結果

	1. 認知したいじめの件数	対 応 状 況			
		2. 解消件数 ・心理的、物理的行為が止み、相当の期間（3か月程度）経過している。 ・心身の苦痛を感じていない。	3. 解消に向けて取組中の件数 ・心理的、物理的行為が止んでいるが、その状態が相当の期間（3か月程度）経過していない。 ・心理的、物理的行為が止んでいない。 ・心理的、物理的行為が止み、相当の期間（3か月程度）経過しているが、心身の苦痛を感じている。		4. その他
令和3年度 第2回 （4月～9月）	6,669	6,124（91.8%）	488（7.3%）	51（0.8%）	6（0.09%）
小学校	5,171	4,843（93.7%）	299（5.8%）	27（0.52%）	2（0.04%）
中学校	1,145	1,012（88.4%）	116（10.1%）	15（1.3%）	2（0.2%）
高等学校	312	243（77.9%）	58（18.6%）	9（2.9%）	2（0.6%）
特別支援	41	26（63.4%）	15（36.6%）	0（0.0%）	0（0.0%）

※（ ）は、認知したいじめの件数に対する割合